

東武グループ事業概要

東武グループは、東武鉄道を中心に鉄道・バス事業などの運輸事業、ホテル業などのレジャー事業、分譲・賃貸事業などの不動産事業、百貨店業などの流通事業、建設業などのその他事業の5つのセグメントで事業展開し、連結子会社80社、持分法適用会社3社から構成されています。

グループの中核となる東武鉄道は、東京、千葉、埼玉、栃木、群馬の1都4県にわたる路線網を有し、浅草を起点とする東武スカイツリーラインは伊勢崎線・日光線を経て群馬県の伊勢崎市、栃木県の日光市に至っています。また、大宮～船橋間の東武アーバンパークラインは東京近郊の環状線の役割を担っています。さらに、池袋を起点とする東上線は川越・東松山方面へ伸びており、埼玉県北西部と都心を結ぶ重要な役割を担っています。

東武グループは沿線を中心として、運輸・レジャー・不動産・流通などの事業を通じて、地域の発展に貢献する総合産業を目指しています。

社名	東武鉄道株式会社 TOBU RAILWAY CO.,LTD.	営業収益	4,963億円(連結)
設立	1897年(明治30年)11月1日	当期純損失	▲251億円(連結)
本社	〒131-8522 東京都墨田区押上二丁目18番12号	株式上場	東京証券取引所 市場第一部
資本金	1,021億3,597万1,747円	鉄道営業キロ	463.3km
代表者	取締役社長 根津嘉澄	従業員数	20,345名(連結)

